

「学力」「気力」「体力」の流山の教育を推進するため 学びに向かう力と自立する子どもを育む

# 文化の秋に

## 「科学作品展」～千葉県児童生徒・教職員科学作品展結果～

9月14日、15日の市内科学作品展には、市内各学校から選ばれた957点もの力作が展示され、2日間で、約3,500人の来場者がありました。たくさんのご来場ありがとうございました。

市内科学作品展において優秀であった作品を、10月19日に千葉県総合教育センターで開催された「千葉県児童生徒・教職員科学作品展」に出品しました。受賞作品は下記の通りです。おめでとうございます。

「千葉県知事賞」を受賞した南流山中学校2年岡本惇生さんの作品は、「全国展」へ出品されることになりました。

部門	賞	作品名	学校名	学年	氏名
1	論文	千葉県知事賞 (全国展出品) 鳥はなぜ飛び立てるのかIV ー飛び立つ時の推力の得方についてー	南流山中学校	2年	岡本 惇生
2	論文	優秀賞 朝食をとったとらないで足のはやさ と計さんののはやはかわるか。	向小金小学校	2年	新倉 緒杜
3	工作	優良賞 かえるのがっしょう	流山北小学校	2年	吉田 璃輝
4	工作	佳作 ミストシャワー付き上履き洗い機	流山北小学校	5年	齋藤 慎司
5	工作	佳作 行ったり来たり おそうじマシン	西初石小学校	6年	志村 駿



## 令和元年度 市内小中学校作品展

11月16日(土)・17日(日)の2日間、生涯学習センター(流山エルズ)で「市内小中学校作品展」が開催されました。今年度「図画・習字・読書感想文作品展」から「市内小中学校作品展」に名称が変更されました。市内小中学校の児童生徒の作品1,591点が展示されました。どの作品も、芸術の秋にふさわしい力作揃いでした。当日は、2日間で3,908人の方々にご来場いただきました。

会場では、自分の作品を見つけて「あった！見てみて！」とご家族を呼ぶ姿や、「上手に描けたね」とほめられて、照れくさそうな表情を浮かべる様子など、ほほえましい光景があちこちで見られました。また、自分の作品だけでなく、会場全ての作品を鑑賞し、「すごいな」「次も選ばれたいな」など、来年への意欲を高めた子どもたちの様子も見受けられました。

今回の作品展は、天候にも恵まれ、近隣の方々も多数ご来場下さいました。「レベルの高さに驚きと感動をもらいました」「このような作品展が続くとよいと思います」といった感想もいただきました。



## 第57回小中学校音楽発表会

10月16日(木)、17日(金)の2日間にわたり、キッコーマンアリーナで第57回小中学校音楽発表会を開催しました。市内25校の小中学校が2日間に分かれ、練習の成果を発表しました。小中の合同演奏があったり、バイオリン・和楽器など様々な楽器を取り入れたり、ダンスなどのパフォーマンスがあったりと、各校趣向を凝らした演奏が会場中に響き渡り、華やかでとても楽しい会となりました。2日間累計で、1,700名以上の保護者の方々に演奏を聴いていただくことができました。

講師の先生からも温かなご助言をいただきました。子どもたちの励みとなり、今後ますますすてきな音楽が創られていくことが楽しみです。



# スポーツの秋に

## 第73回東葛飾地方中学校駅伝競走大会

10月19日(土)、第73回東葛飾地方中学校駅伝競走大会が開催され、流山市内の中学校9校を含めた東葛飾地方の全71校が出場しました。選手達は野田市総合公園陸上競技場をスタートし、松戸市立中部小学校までの全長32.2km10区間のコースを駆け抜けました。

どの選手も、母校の誇りと練習の中で培われた絆を糧に込めて大変素晴らしい走りを見せてくれました。また、沿道の方々の温かい声援も選手達にとっての大きな力となりました。結果については表の通りです。



順位	学校名
8位	南流山中学校
19位	おたかの森中学校
21位	八木中学校
30位	南部中学校
31位	北部中学校
33位	常盤松中学校
36位	西初石中学校
37位	東部中学校
47位	東深井中学校

## 流山市小学校ミニバスケットボール大会

第13回流山市小学校ミニバスケットボール大会が、10月31日(木)・11月7日(木)にキッコーマンアリーナで開催され、市内の小学校全16校が2日間に渡って熱戦を繰り広げました。

予選リーグから接戦と好ゲームの連続で、大変応えのある大会となりました。また、チーム一丸となって力を合わせて頑張る姿、仲間へ一生懸命声をかける姿は大変素晴らしいものでした。子どもたちは大会に向けて仲間と共に努力したことを通して、公正な態度やチームワークを学ぶことができ、大変実りの多い大会となりました。

結果については以下の通りです。



	男子	女子
優勝	東小学校	東深井小学校
準優勝	流山北小学校	八木北小学校
第3位	おたかの森小学校	鰯ヶ崎小学校
第3位	東深井小学校	八木南小学校

## ～台風15号の義援金について～

この度の台風15号の被害に際し、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。被災された千葉県内の方々に対して、市内全小中学校で児童会、生徒会が中心となり、保護者、地域の方々の協力を得て、義援金の募金活動を行いました。義援金の総額は、2,262,438円です。この義援金は、流山市役所企画政策課を通して、寄付させていただきます。

# 教育ながれやま

第76号  
編集発行 流山市教育委員会  
TEL 04(7158)1111

## 語彙力を増やすために

### ～普段から言葉の大切さを～



流山市教育委員会教育長  
後田 博美

1年生の教室の机の上には、木の絵が描かれたワークシートがありました。幹の部分には「だれ」が「何をした」という部分に注目して、気に入ったところと選んだ理由が書けるようになっています。

1年生に「このワークシートはどう使うんですか。」と尋ねると、「このワークシートは、端をくっつけてとめると筒になって、木になるんだよ。みんなのものと一緒に並べるとお話の森になるんだよ。」と答えてくれました。1年生が、自分たちの学習に対して、しっかり目的を持って順序良く、話ができることに驚きました。

これは、去る11月12日に江戸川台小学校において、開催された公開研究会の授業の一場面です。教科は、国語科で、言語活動を重視して研究を進め、このような学習を進めていくことによって語彙力を養い増やそうというものです。

昨今、語彙力という言葉が耳にすることが多くなりましたが、語彙力とは、言葉をどれだけ知っているか、そしてどれだけ使うことができるかというものです。

例えば、星を見て、美しいと感じた時、「きれい」という言葉を使えば一言で終わりますが、「きれい」といっても、その感じ方には、人それぞれ微妙に差があるかもしれません。そこで、「きれい」という言葉を使わないでどのような言葉を用いれば、自分の感じた「きれい」が表現できるでしょうか。

子どもたちが、自分の成長に応じて「キラキラ」「光る」「輝く」「きらめく」などの言葉に言い換えて使うようになれば、子どもたちの語彙力を高めることができるのではないかと考えます。

語彙力は、文章を読んだり、話を聞いたりするときに理解できる言葉と、自分で文章を書いたり、話をするときに使う言葉の大きく二つに分けることができます。

人間の思考は、言葉に基づいており、子どもたちの思考を伸ばすためにも「ヤバイ」などといった、一言で何でも表せる言葉を使わず表現させていくことが必要だと思えます。

また、江戸川台小学校の廊下の一角には、国語辞典や語彙辞典が置かれ、分からない言葉を調べるという習慣形成にも取り組まれていました。

分からない言葉は調べてみることによって自分のものになると考えられ、そのためには辞典を、身近に置いておければと思います(電子辞書でもいいそうですが)。

そして、語彙力を向上させるためには、やはり読書が効果的と言われ、本を読むことによって、たくさん語彙が増え身につくものと考えます。

読書が好きな子どもたちなら、たくさん読ませればいいのですが、読書があまり好きではないという子どもたちには、無理強いすると文字が嫌いになってしまうことも考えられます。

そのような場合には、日常の会話の中でも、「へー」「よかったね」と相槌だけで済ませるのではなく、考えを聞いたり話したりすることもいいと思います。読書が苦手でも、話すのは好きだという子どもたちには、効果的であるそうです。

語彙力の向上は、すぐにどうにかなるものではありませんが、子どもたちは、好きなことや得意なことから始めていくと、自然に良い習慣が身についていくものと思います。

また、意識的に読書を多くし、使用する語彙を増やすことによって、コミュニケーションスキル向上にもつながるものと思います。

市教委では、「子どもたちにたくさん本を読んでほしい」、「図書室や図書館に通ってほしい」と願い、学校図書館や学校図書館司書をたくさん活用しながら、子どもの読書活動を推進するため、今年度から、「R1読書گرانプリ」という取組を始めました。この読書活動を通して、読書量や読書の幅が広がることを期待しているところです。

今年も、流山の教育に対してご理解、ご協力、ご支援をいただきました。来年もよろしくお願いたします。

